

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 10 日 (2015.9.10)

【公表番号】特表 2014-520950 (P2014-520950A)

【公表日】平成 26 年 8 月 25 日 (2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2014-045

【出願番号】特願 2014-521748 (P2014-521748)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 153/00 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 153/00

C 0 9 J 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 21 日 (2015.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

歪んだ一時的な形状及び固有形状と第 1 及び第 2 の対向する表面とを有し、それぞれがその内部に幅を有する複数のスリットのうちの少なくとも 1 つを含む領域、を有する形状記憶ポリマーシートであって、前記複数のスリットが全スリット長を画定し、そして転移温度範囲以上に加熱される場合は、形状記憶シートがその歪んだ一時的な形状から固有形状に少なくとも部分的に変換する、形状記憶ポリマーシートと、

第 1 の厚さ、並びに第 1 及び第 2 の対向する表面を有する第 1 接着剤層であって、前記第 1 接着剤層が感圧接着剤を含み、そして、前記第 1 接着剤層の第 1 の対向する表面の大部分が、歪んだ一時的な形状にある前記形状記憶ポリマーシートの第 1 の対向する表面の大部分上に配置される、第 1 接着剤層と、

第 2 の厚さ、第 1 及び第 2 の対向する面を有する第 2 接着剤層であって、前記第 2 接着剤層の第 1 の対向する面の大部分が、歪んだ一時的な形状にある前記形状記憶ポリマーの第 2 の対向する面の大部分上に配置される、第 2 接着剤層と、
を備え、

前記接着剤層の少なくとも一つが発泡接着剤を含むものである、熱剥離可能な接着剤物品。

【請求項 2】

歪んだ一時的な形状及び固有形状と第 1 及び第 2 の対向する面とを有し、それぞれがその内部に幅を有する複数のスリットを含み、転移温度以上に加熱される場合には、その歪んだ一時的な形状から固有形状に少なくとも部分的に変換する、形状記憶ポリマーシートであって、第 1 及び第 2 の対向する面を有する第 1 接着剤層が、形状記憶ポリマーの第 1 の対向する面の大部分上に配置されている形状記憶ポリマーシート、を準備することと、

前記第 1 接着剤層の第 2 の対向する面を第 1 基材に適用することと、

を含む、剥離可能な接着剤物品の調製方法。

【請求項 3】

歪んだ一時的な形状及び固有形状、転移温度、第 1 及び第 2 の対向する表面を有し、その内部に複数のスリットを含む領域を備える形状記憶ポリマーシートと、

第 1 の厚さ、並びに第 1 及び第 2 の対向する表面を有し、第 1 接着剤層の第 1 の対向する表面が、歪んだ一時的な形状にある前記形状記憶ポリマーシートの第 1 の対向する表面の大部分上に配置される、第 1 接着剤層と、

前記第 1 接着剤層の第 2 の対向する表面の大部分と接する面を有する第 1 基材と、を備える、第 1 及び第 2 の対向する面を有する第 1 基材を備える物品を準備することと、

第 1 転移温度を超える第 1 温度まで前記物品を加熱し、前記第 1 の形状記憶ポリマーシートをその歪んだ一時的な形状から固有形状に変換することと、

前記第 1 基材を剥離することと、

前記第 1 接着剤層を前記第 1 基材上に位置したままにしておくことと、

を含む、接着剤物品の剥離方法。

【請求項 4】

前記物品が、

第 2 接着剤層の第 2 の対向する面の大部分と接する第 2 基材を更に備え、前記第 2 接着剤層は剥離工程の後に前記第 2 基材上に位置したまま残る、請求項 3 に記載の接着剤物品の剥離方法。